



平成18年度

一般会計補正予算（9月補正）

平成18年度の一般会計補正予算が、9月に開かれた議会定例会で可決されました。

一般会計予算は歳入と歳出にそれぞれ3億5,265万1千円を追加し、補正後の一般会計予算総額は193億6,256万8千円となりました。

今回の補正は、給料表の改正および人事異動に伴う人件費の調整、社会福祉などの制度改正に伴う補正のほか、固定資産税評価資料整備事業、小中学校情報機器整備事業、食育推進事業、災害復旧事業などの各事業が予算化されました。

9月補正予算で追加された主な事業

小中学校情報機器整備事業

..... **98, 365千円**

千倉・和田地区小中学校情報教育用パソコンのリース期間が終了することにより、新たにパソコンを購入し、情報化社会におけるITを活用した情報教育の推進を図ります。



固定資産税評価資料整備事業

..... **92, 830千円**

固定資産の課税客体の的確な把握、適正化を図るために航空測量写真撮影を行います。その後、平成21年度までにデジタルの地番現況図・家屋現況図を作成し、データを活用して地理情報システムを構築します。



航空写真

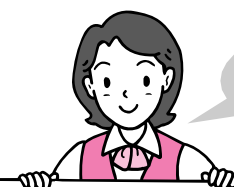
災害復旧事業

..... **129, 717千円**

平成18年4月の大雨により、被害のあった道路や河川、農地・農業用施設、林業施設の災害復旧を図ります。



大雨により被災した岡本川



補正予算とは

補正予算とは、年度途中に災害の発生や法改正などの事情により特に必要となった経費の追加を行う予算。